

研究・調査報告書

報告書番号 3 1 2	担当 独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Ethanol preexposure attenuates the interaction of ethanol and cocaine in taste aversion learning エタノールの前投与は味覚嫌悪学習におけるエタノールとコカインの相互作用を減少させる	
執筆者	
Grakalic I, Riley A.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Pharmacol Biochem Behav. 2002 72(3):633.	
キーワード	
エタノール、コカイン、味覚嫌悪学習、相互作用	
要 旨	
<p>エタノールとコカインの強化効果における研究は十分に行われているが、エタノールまたはコカインの過去の摂取経験がそれらの相互作用に及ぼす影響についてはほとんど報告がない。本研究では雌の Long Evans ラットを用いてサッカリンに味覚嫌悪学習させる前にエタノール (3.5g/kg) または生理的食塩水を投与し、サッカリン溶液摂取時にエタノール、コカイン、またはそれら両方の組み合わせで投与し、様々な状態での検討を行った。</p> <p>その結果、エタノール、コカイン両方とも投与されていないラットにサッカリン摂取時にそれらを合わせて投与すると、摂取レベルが低下し、エタノールのみ、またはコカインのみによって生み出される嫌悪よりもさらに強い嫌悪を示した。エタノールを前投与したラットでエタノールとコカインの投与は嫌悪の程度がいくらか低下し、摂取量はコントロールとの差は観察されなかった。薬との組み合わせにより誘導されるエタノールの嫌悪低下が起こる原因については良くわからないが、本研究ではアルコールを摂取した経験が、その後の薬の毒性を減少または感受性に影響を与えるかもしれない可能性が考えられた。</p>	